

## 第2学年「生き方」指導案

### 1 単元名 仕事と自分

### 2 単元の目標

- 【分かる】世の中には多種多様な仕事があり、収入だけでない価値があることに気付き、様々な思いをもって仕事を選択していることが分かる。
- 【深める】仲間との語りを通して、どの仕事も尊いものであることや、仕事をするには働く人の思いや周りの人との関わりの中で成り立っていることに気付き、自分の仕事に対する思いを見つめ直すことができる。
- 【育む】まとめの活動を通して、どの仕事も尊重し、人との関わりを大切にしながら、生きがいややりがいをもって生きていこうとする心を育むことができる。

### 3 単元指導計画

時	過程	ねらい	学習活動	★指導のポイント ○準備物
1	分かる(知・技)	自分もっている仕事に対するイメージを明確し、世間には自分の知らないような様々な仕事があることが分かる。	課題：仕事にはどのようなものがあるのか調べよう ①仕事にはどのようなものがあるのか調べる。【個人】 ②興味のある仕事について、調べたことと、興味をもった理由を交流する。【グループ】【全体交流】 ③感想を書く。【個人】	★ワークシートを回収後、机列表などにまとめ、生徒の仕事に対するイメージをとらえていく。 ★①では、冊子から様々な仕事があることに気付き、自分の興味がある仕事に対して、なぜ興味をもったのかを明確にできるようにする。 ★②では、グループ交流でホワイトボードに書き、全体交流で共通点を共有することができるようにする。 ★感想用紙を回収後、机列表などにまとめ、生徒の心の変容をとらえていく。 ○資料「私たちの地域のお仕事ブック」、ワークシート
2		仕事に対する自分がもっているイメージと、実際の働く現場を比較することを通して、「収入」以外にも付加的な価値があることが分かる。	課題：働くこととはどういうことだろうか考えよう ①働くこととはどういうことかを考える。【全体】 ②映像資料「仕事ハッケン伝」を視聴する。【全体】 ③感想を書く。【個人】 ④感想を交流する。【グループ】【全体交流】	★感想用紙を回収後、机列表などにまとめ、生徒の心の変容をとらえていく。 ★①では、「お金を稼ぐこと」や「家族のため」などが出るのが予想されるが、「幸福感」や「満足感」などの意見を取り上げ、「実際にどうか確かめてみよう」と映像資料視聴につなげ、見る観点をもつことができるようにする。 ★感想用紙を回収後、机列表などにまとめ、生徒の心の変容をとらえていく。 ○映像資料「仕事ハッケン伝」、ワークシート
3	深める(思・判・表)	映像を通して、新津さんの仕事に対する思いや生きがい、仕事をする事の尊さを理解することができる。	課題：ビデオを通して、仕事について考えよう ①清掃業について問いかける。【全体】 ②映像資料「プロフェッショナル仕事の流儀」を視聴する。【全体】 ③感想を書く。【個人】	★①では、前時の学習を振り返るとともに、やりたくない仕事として考えている生徒がいれば、その理由を聞くなどして導入を図る。 ○映像資料「プロフェッショナル仕事の流儀」、ワークシート
4		新津さんの仕事に対する思いを考えることを通して、一見、厳しく大変に思える仕事でも、人との関わりや、自分の志によってやりがいを感じられることが分かる、その尊さを考えることができる。	課題：新津さんの仕事に対する思いを考えよう ①新津さんの経歴を確認する。【全体】 ②新津さんは、どのような思いで仕事をしているのかを考えて書く。【個人】 ③書いた内容を交流し、新津さんの仕事に対する思いを考える。【グループ】 ④それぞれのホワイトボードを黒板に貼り、交流する。【全体】 ⑤新津さんがそこまで熱心に働くことができる理由を考える。【全体】 ⑥本時の感想を書く。【個人】	★①では、新津さんが初めから清掃業を目指していたわけではないことをおさえる。 ★個人追究やグループ交流では、汚れに対する思い・人に対する思い・自分自身に対する思いなど、新津さんの思いを分別して考えることができるようにする。 ★⑤では、どんな職業であっても、それぞれの思いや姿勢によって、やりがいを感じられることをおさえ、その尊さを味わうことができるようにする。 ○ワークシート、ホワイトボード
5	本時			
6	育む(思)	一連の学習の振り返りや、仲間との交流を通して、どの仕事も尊重し、人との関	課題：これまでの学習を振り返り、自分の思いや考えを書こう ①作文用紙に自分の思いを書く。【個人】 ②発表会に向けての練習をする。【個人】	★前時までの学習を終えて、仕事に対する自分の思いを、素直に書けるように指導する。 ○作文用紙

7	わりを大切にしながら、生きがいややりがいをもって生きていこうとする心を育むことができる。 自分の思いを強くもち、相手を意識して、分かりやすく発表することができる。	<u>課題：自分の思いや考えを伝えよう</u> ①発表会を行う。【グループ】 ②抽出生徒の発表を聞く。【全体】 ③学習のまとめをする。【全体】 ④感想用紙を切り取り、相手に渡す。【グループ】	★それぞれの発表の後には、口頭で感想を言うとともに、感想用紙にも感想や意見を書き、それを授業後に切り取り、渡すことができるようにする。 ★心の変容があった生徒を事前に抽出しておき、その思いをみんなで共有できるようにする。 ○感想用紙
---	--	---	--

#### 4 本時のねらい

やりたい仕事、やりたくない仕事について考えることを通して、仕事に対して偏見や一面的な見方をしている自分に気付き、仕事に対する自分の考え方を見つめ直すことができる。

#### 5 本時の展開（5／7）

過程	学習活動 ・ 予想される生徒の反応	留意点 ★指導のポイント ○準備物
導入	① 前日のワークシートの感想を紹介する。 ② 世の中にはどんな仕事があるのか自分が知っている仕事について聞く。	★①で新津さんの仕事への思いについて想起させる。 ★②では③につなげるためにやりたい仕事、やりたくない仕事関係なく、たくさん仕事について意見が出せるようにする。
<b>【課題】</b> 仕事について考えることを通して、仕事に対する自分の考えを深めよう。		
展開	③ やりたい仕事、やりたくない仕事を、ワークシートに記入する【個人】 ④ ワークシートに記入した内容を班で交流して、ホワイトボードに意見をまとめる。その際、なぜやりたい、やりたくないと思ったのか理由を班でまとめる。【班活動】 ⑤ 各班のホワイトボードを黒板に貼り、全体で交流する。【全体】 (やりたい仕事) ・収入が安定してそうだから。 ・楽しそうだから。 ・かっこよさそうだから。 ・将来の夢だから。 (やりたくない仕事) ・めんどくさそうだから。 ・大変そうだから。 ・文句を言われそうだから。 ・厳しそうだから。 (新津さんの仕事への思い) ・自分はやりたいと思わなかったけど、その仕事にやりがいをもっていてもいることを知った。 ・仕事への勝手なイメージをもっていたことに気付いた。 ⑥ 組織づくりのときを思い出しながら自分の係活動について振り返る。【全体】 ・〇〇そうと思っていた仕事を一生懸命取り組んでいる仲間がいる。 ・〇〇そうと思っていた仕事が仲間のためになることがわかった。	○ワークシート ○ホワイトボード ★③では実現性は問わず、やりたい仕事やりたくない仕事について自由に書いてもよいことを伝える。 ★⑤では、班で交流する際、意見の中から共通する言葉に着目する。その中で「〇〇そう」が共通していることに気付くことができるように促す。その上で「新津さんは『〇〇そう』に仕事していた？」と問い返す。新津さんの仕事への思いに立ち返らせ、仕事に対して一面的な見方をしていることに気付けるようにする。 ★⑥では、組織づくりの際に「めんどくさそうだから」などの理由で係の仕事を選んでしまった自分がいまいか振り返ることで仕事への考え方を深められるようにする。 葛藤と語らいを深める10のポイントの「判断について吟味」を活用 <b>【葛藤を生み出す手立て】</b> ★⑥抽出生徒の活動を取り上げ、自分「めんどくさそう」と思っている仕事でも、実際そうは思わずやりがいをもって取り組んでいる生徒を紹介する。その生徒の思いを聞いて自分はどう思うかを交流できるようにする。 <b>【語らいを活性化させる手立て】</b>

終末	<p>⑦ 「仕事に対する自分の考えを深めよう」に対する考えや感想を書く。【個人】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇そうだと思っていた仕事に対して一生懸命取り組んでいる人がいる。だから自分のイメージだけで仕事を判断していることがわかった。また、係活動についても一つ一つの係に役割があり、大切な仕事であることを忘れずにこれから生活していきたいと思った。</p> </div> <p>⑧ 本時の感想を交流する。【全体】</p>	<p>★⑦では単元や本時のはじめから、考えがどのように変容したのかを書くように促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準【思・判・表】</p> <p>仲間の思いや考えを聞く中で、仕事に対して一面的な見方をしていた自分に気づき、自分自身の仕事に対する考え方を見つめ直すことができる。</p> </div>
----	---	---